

わちエダより

題字 吉田蒼月

Vol.55

2023年(令和5年)
11月発行



診療情報

泌尿器科

より正確な前立腺がんの診断に
MRI-超音波画像融合標的生検システム
「トリニティ」を導入

地域の健診機関やクリニックと連携した、
前立腺がんの診断・治療

泌尿器科部長
平野篤志 医師

Information

带状疱疹予防接種のご案内
八千代総合健診センター

Topics

病院機能評価の認定を更新
～地域に根ざした、安全で質の高い
医療の提供体制が評価される～

放射線科医長・大河内慶行医師が
画像診断コンテストで優秀賞を受賞

より正確な前立腺がんの診断に MRI-超音波画像融合標的生検システムを導入

日本人男性のがんで最も罹患率の高い前立腺がん。近年、医療機器の進歩と検査技術の高度化によって、より正確な診断が可能になってきました。当院泌尿器科では、2023年6月より地域に先駆けMRI-超音波画像融合標的生検システム「トリニティ」を用いた前立腺の標的生検を開始。診断精度の向上に努めています。

MRI-超音波画像融合 標的生検システム「トリニティ」

今回導入した生検システム「トリニティ」では、高解像度のMRI画像と超音波画像を融合させ、前立腺を3D画像として描出することができます。そのため、がんが疑われる部位から正確に組織を採取することが可能になり、検出率の向上および、よりの確なリスク判断に寄与します。

トリニティ（仏 コエリス社製）

FOCUS | 先進技術

生検前に撮影



MRI画像

生検時に取得

3D超音波画像

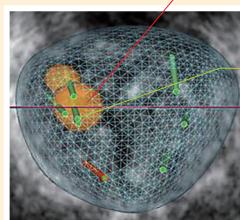
融合

生検時、リアルタイムにモニターに映し出される3D画像を確認しながら生検を行います。

- がんが疑われる部位（標的部位）を可視化し、組織を採取する操作をナビゲーションすることで、標的部位を狙い撃ちします。
- 前立腺の動きや変形に対応し、標的部位を追尾する機能をもつため、より正確な採取がしやすくなります。
- 生検した部位の記録を3D画像に残すことができ、治療に活用できます。

病変
（標的部位）

採取する場所



融合された3D画像

がんの有無や悪性度を調べる前立腺生検 新しい生検システムは、これまでと何が違う？



近年は、「PSA検査」による前立腺がん検診が自治体などで広く実施されるようになりました。PSA検査で値が高く、MRI検査、超音波検査などの二次検査で前立腺がんが疑われる場合、確定診断のために**生体検査（生検）**が必要です。生検では、直腸の壁を通して前立腺に針を刺して組織を採取し、がんの有無や悪性度を調べます。

この前立腺生検には大きく2つの方法があります。

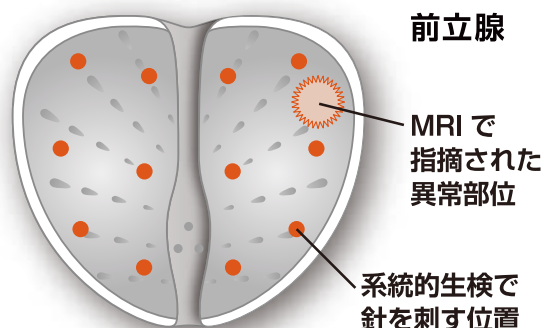
PSA検査とは？

PSAは「前立腺特異抗原：prostate-specific antigen」の略語で、前立腺から分泌されるタンパクです。前立腺にがんや炎症があるとPSAが血液中に漏れ出し、増加します。血液検査でPSA値を調べることによって前立腺がんの可能性を調べます。

1 系統的生検（従来の一般的な生検）

直腸に超音波器具（プローブ）を挿入し、超音波画像を観察しながら前立腺の10～12か所の決まった部位に針を刺して組織を採取します。

超音波画像のみをたよりに生検を行うため、事前に撮影したMRIで指摘された異常部位が超音波でも描出できる場合は問題ないのですが、病変の部位や大きさによっては描出が困難な場合があり、組織をうまく採取できず、2回目3回目の生検が必要になることがあります。



2 標的生検（MRI-超音波画像融合標的生検）

事前に撮影されたMRI画像と、生検時に取得する超音波画像をシステム上でリアルタイムに融合し、がんが疑われる部位を明確に可視化した状態で組織を採取します。

系統的生検よりも、がん検出の精度が高く、位置や大きさ、悪性度を正確に把握できるのが特長です。

当院では、標的生検を1泊2日の入院で実施しており、検査所要時間は30分程度です。

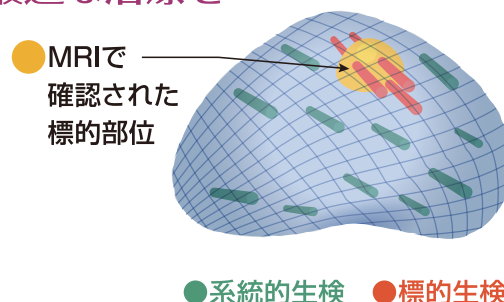


この標的生検は2022年より保険適応となっています。

正しい診断にもとづき、患者さんにやさしく、最適な治療を

前立腺がんは死に直結する“悪いがん”から、放っておいても進行しない“おとなしいがん”までさまざまあり、生検は治療方法を選択する上で重要な手がかりとなるものです。

当院では、「トリニティ」を使用した標的生検に系統的生検を組み合わせることで、診断の精度を高め、患者さんにとって不必要な再生検や、過剰な治療を回避するよう努めています。





当院で行う前立腺がんの診断・治療について、泌尿器科部長の平野医師に話を聞きました。

患者さんの不安や負担を軽減するために、さまざまな工夫をしています

前立腺がんはおとなしいがんとはいえ、やはり悪性腫瘍ですから、時間がかかれば進行するのではないかという不安が患者さんにはあると思います。当院では疑いの段階から診断、治療に至るまでの期間はなるべく短くできるように心がけています。

また、今回で紹介した標的生検システムのほかにも、放射線治療の際に金属マーカーの埋め込みやハイドロゲルスパiser留置などを行い、より有効で合併症の少ない治療に取り組んでいます。

さらに、当院ではできない治療法（ロボット補助手術や陽子線照射など）に関しても、できるだけ中立な立場でお話するように心がけています。患者さんには納得、安心して治療に取り組んでいただきたい。だからこそ患者さんの視点に立った説明や治療を重視しています。



参考ホームページ▶ 八千代病院 放射線治療センター

https://www.yachiyo-hosp.or.jp/medicalcenter/radiation_therapy.html#feature2

症状の出にくいがんだから、定期的に検診を

前立腺がんでは、血尿や排尿障害（尿が出にくい、痛みがある、頻尿など）の症状が出たり、転移を生じた場合は骨盤や椎骨（背骨の一部）が痛むことがあります。ただ、症状が出にくい場所にできることが多く、早期のうちは特有の症状がありません。早期発見には定期的な検診を受けることが大切です。

父親あるいは兄弟に前立腺がんの患者さんがいる場合の発症リスクは2～3倍といわれています。また、食生活の欧米化に伴い、年々全体の発症率が増

加していますので、50歳を過ぎたら皆さんに検診を受けていただきたいと思います。

当院には泌尿器科専門医が在籍しており、近隣の健診機関やクリニックと連携し、前立腺がんの診断・治療に積極的に取り組んでいます。検診で精密検査の必要があると指摘された方、また気になる症状がある方は放置せず、どうぞ当院泌尿器科にご相談ください。

当院で行う前立腺がんの検査・治療



治療方法は、病理検査結果の悪性度（グリソンスコア）、画像検査によるステージ、患者さん側の要因（年齢、持病、社会的背景など）も含めて、患者さんと相談しながら決めていきます。

当院での検査・治療を希望される方

- 人間ドックやがん検診などで前立腺がんの検査を希望される方は、八千代総合健診センターにお問い合わせください。
- 血尿や排尿障害などの症状がある方は、泌尿器科を受診してください。



八千代総合健診センター



八千代病院 泌尿器科

帯状疱疹予防接種 **任意** のご案内

近年、帯状疱疹が増加傾向にあることから、帯状疱疹の発症や重症化予防に効果的とされるワクチンの接種が、発症リスクの高い50歳以上の方に勧められるようになりました。

現在、帯状疱疹のワクチンには2種類あり、当センターではいずれの接種にも対応しています。

予防接種の適応があるかどうか、どちらのワクチンが適しているかは人によって異なりますので、接種を希望される方は、担当医または八千代総合健診センター受付まで、おたずねください。

「帯状疱疹」について、詳しくは次ページをご覧ください。▶

いずれも
安城市
助成対象

2種類のワクチンの比較表

ワクチン名 〈種 類〉	ビケン 〈生ワクチン〉	シングリックス 〈不活化ワクチン〉
接 種 方 法	皮下注射	筋肉注射
接 種 回 数	1回	2回（接種間隔2か月～6か月以内）
費 用	7,700円	44,000円（22,000円/回）
安城市助成額	3,000円	1回 7,000円×2回
発症予防効果	約69% （合併症予防） 帯状疱疹後神経痛軽減 約66%	約90% （合併症予防） 帯状疱疹後神経痛軽減 約80%
利 点	・費用が安い	・予防効果がより長く高い ・18歳から49歳までの方も 接種が可能
欠 点	・免疫機能に異常のある人、 免疫抑制薬による治療を 受けている人は接種できない	・2回接種が必要 ・費用が高い

安城市の助成を受けるには事前申請が必要です。
助成制度の詳細は市のホームページをご確認ください。

安城市ホームページ▶



接種予約
お問い合わせ

八千代総合健診センター

受 付 時 間 …… 月 ～ 金 曜 日 / 13:00～16:30（祝日を除く）

第2・4・5土曜日 / 8:30～12:00（祝日を除く）

電 話 番 号 …… 健診センター直通 TEL. **0566-98-3367**



带状疱疹ってどんな病気？

带状疱疹は50歳以上で増加し、
80歳までに日本人の3人に1人がかかる身近な病気です。



体の左右どちらかの神経に沿って、
痛みを伴う赤い湿疹と水ぶくれが
带状疱疹に現れます。
特に上半身に出現することが多く、
症状は3～4週間ほど続きます。

顔や頭部にできた場合、顔面
神経痛や失明、難聴など重い
合併症を引き起こすことも！

■带状疱疹はなぜ起こる？

带状疱疹を引き起こすウイルスは、水ぼうそうと同じウイルス（水痘・带状疱疹ウイルス）です。このウイルスに初めて感染すると「水ぼうそう」になり、治った後もウイルスは体内の神経節に潜伏し続けます。ウイルスは普段は体の免疫力によって活動を抑えられていますが、免疫力が低下すると再び活動を始めて増殖し、带状疱疹を引き起こします。

■高齢者は要注意！ 重い合併症を起こすことも

带状疱疹は過労やストレスによる免疫力低下が引き金となり、若い人が発症することも珍しくありません。しかし50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が带状疱疹になるといわれています。高齢者が発症した場合は湿疹や痛みの程度が強く、重症化しやすくなります。また「带状疱疹後神経痛（PHN）」といって発症後3か月以上、神経痛が持続することもあり、注意が必要です。

■带状疱疹は“ワクチン”により予防できる病気です

日本人の成人のおよそ9割が、体内に水痘・带状疱疹ウイルスをもっていると
考えられています。

予防にはワクチンが有効ですが、日頃からの体調管理を心がけ、免疫力を低下させないことも大切です。
また治療薬もありますので、症状のある方は早めの受診をお勧めします。



病院機能評価の認定を更新

～地域に根ざした、安全で質の高い医療の提供体制が評価される～

当院は、公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院2（急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院）」の審査を受審し、2023年2年18日付で認定を受けました。当院は2008年に初めて病院機能評価の認定を受け、今回は4回目の認定となります。

「最善の医療を提供する」という理念のもと、今後も質の高い医療を安全かつ効率的に提供するために、絶えず改善の努力を続けてまいります。



病院機能評価の認定有効期限は5年間で、★星の数は認定の更新回数を表しています。

病院機能評価とは？

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。病院機能評価は、病院の運営管理および診療やケアの提供体制について、第三者機関である日本医療機能評価機構が中立的・科学的・専門的な見地から審査し、機構の定める一定の水準を満たした病院を認定するものです。

評価項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供しているか」「病院全体の管理運営体制は整っているか」など約90項目に及び、これら一つひとつに対し、書類審査と専門審査員による訪問審査が実施されます。

放射線科医長・大河内慶行医師が 画像診断コンテストで優秀賞を受賞

放射線科医長 大河内慶行 医師

2023年9月15日～17日に開催された第59回日本医学放射線学会(JRS)秋季臨床大会「イメージ・インタープリテーション・セッション」において、当院放射線科 医長の大河内慶行医師が優秀賞を受賞しました。

「イメージ・インタープリテーション・セッション」とは、読影が難しいCTやMRIなどの画像に対して、全国の放射線診断医が解答を競い合うコンテストです。大河内医師は、2022年度に開催された第81回JRS総会の同セッションでも成績優秀者として表彰を受けており、その高い診断能力が評価されています。

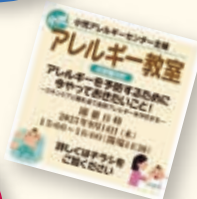


当院各診療科の医師からの信頼も厚い大河内医師。放射線診断医は、普段患者さんと直接接する機会はありませんが、病気の診断や治療方針の決定にあたり、重要な役割を担っています。

八千代病院公式SNSはじめました!

八千代病院では、下記の公式SNSを開設しています。健康に役立つ情報や当院のさまざまな取り組み、イベントなどの情報をタイムリーにお届けします。ぜひ、ご登録ください。

登録してね!



当院の取り組みをできるだけ身近に感じていただけるよう情報発信しています!

新任医師紹介

NEW FACES



整形外科
告野 英利(つげの ひでとし)
2023年10月着任

10月より当院の整形外科に赴任した告野英利と申します。外傷から慢性疾患まで幅広く診療をさせていただきます。特に骨粗鬆症の診断と治療には

気を配っており、当院にお越しの方々の骨と丈夫な体を守るお手伝いをさせていただきますと幸いです。ささいなご相談もお気軽にお話しください。

【所属学会・資格】

日本整形外科学会
日本骨粗鬆症学会
中部日本整形外科災害外科学会

漢方教室のご案内

漢方薬の服用とともに、生活習慣の改善が重要な漢方治療。漢方教室では、治療効果を高め、日々をより健やかに過ごすための養生法を専門医が分かりやすくお話しします。漢方外来を受診中の方だけでなく、漢方治療に関心をお持ちの方の参加も歓迎します。どうぞお気軽にご参加ください。

●開催日

2023年12月27日(水)
15:00~16:00

●会場

八千代病院 2階 大会議室

●予約・お問い合わせ

総合受付 Tel.0566-97-8111(代)

※予定は諸事情により変更になることがあります。
最新情報はWEBでご確認ください。

要予約
参加費無料

